

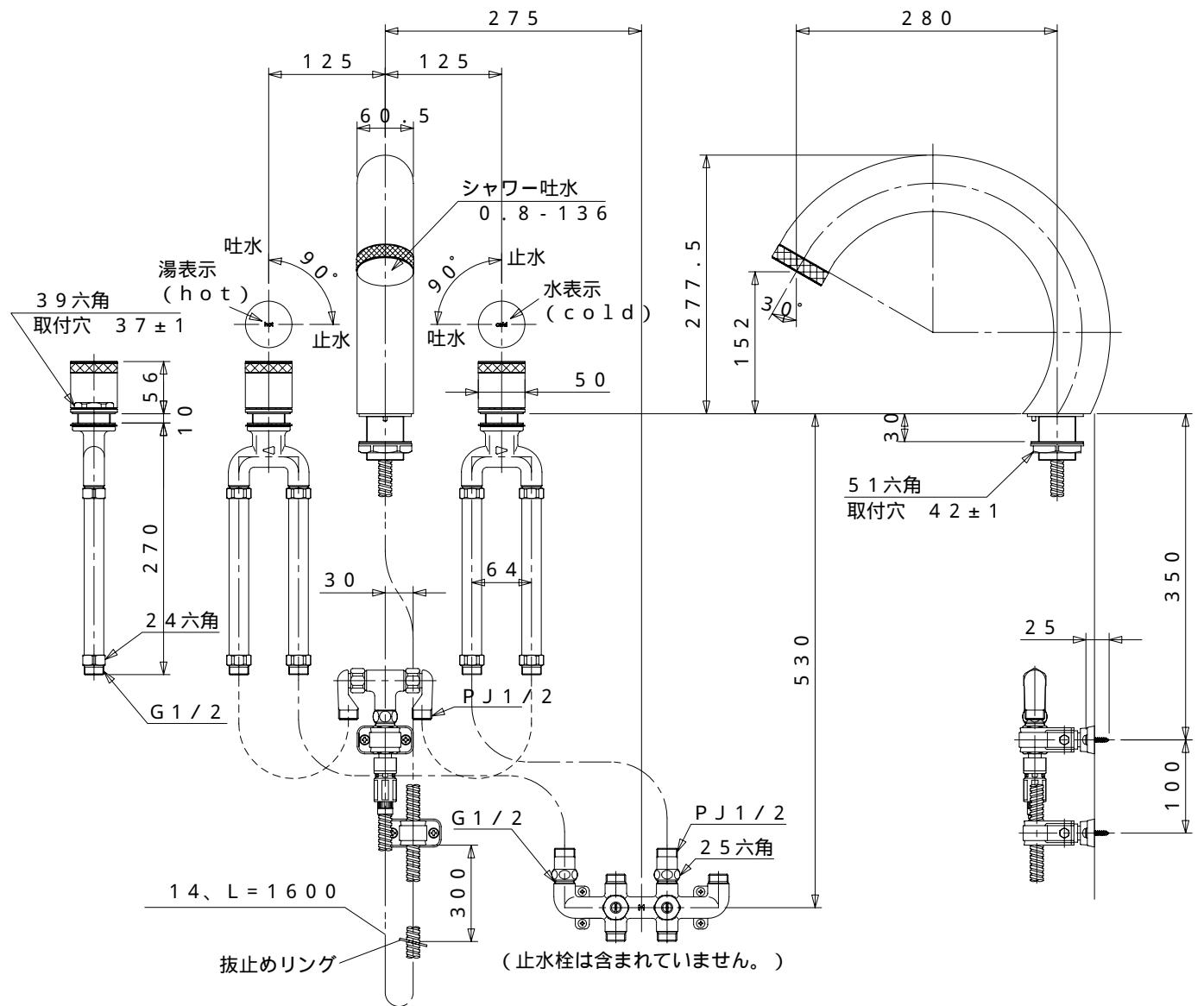
工事説明書

台付き2ハンドル湯水混合水栓(シャワ・埋込)

MK605BIG-T シリーズ

正しい設置および正しい使用がされなかった場合の製品の故障および事故について、当社は責任を負いませんので予めご了承下さい。

外観寸法図



使用条件と取り付け前のご注意

給水・給湯圧力	最低必要圧力 0.05 MPa
	最高圧力 0.75 MPa
	適正圧力 0.2~0.3 MPa
推奨給湯温度	60
使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

給水圧力が0.75 MPaを超える場合は、市販の減圧弁を設置して適正圧力(0.2~0.3 MPa)に減圧して下さい。ウォーターハンマーや流水音が低減します。

給水圧力は給湯圧力と同等もしくは高く設定してください。

誤作動などによるやけど防止のため、60 給湯をおすすめします。

高温でのご使用は水栓金具の寿命を短くし破損や水漏れの原因となります。

給湯配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いて下さい。

湯・水を逆配管しないで下さい。

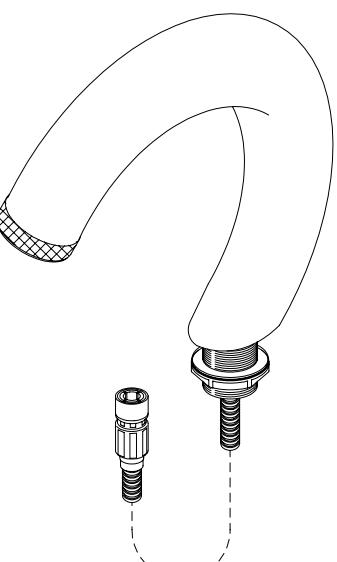
給湯に蒸気を使用しないで下さい。

水栓取り付け前には必ず配管内の清掃を行い配管内のゴミ、砂等を完全に洗い流して下さい。

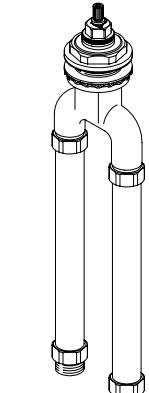
付属品

取扱説明書(1部)
施工説明書(1部)

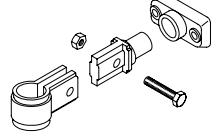
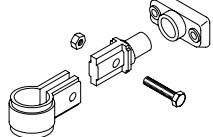
パイプ本体(1個)



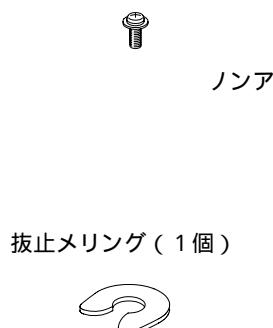
止水本体(2個)



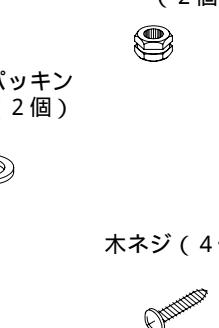
混合本体(1個)

PP立バンドセット:グレー(1セット)
:白(1セット)

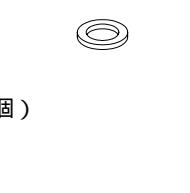
ハンドル固定用セムスピス(2個)



ハンドル接続アダプター(2個)



ノンアスペストパッキン(2個)

ハンドルキャップ
cold:(1個)
hot:(1個)

逆止弁ソケット(2個)



ハンドル(2個)



抜止めリング(1個)



木ねじ(4個)

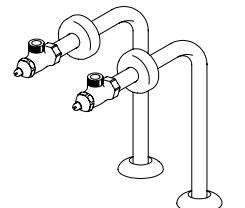


器具の取り付け

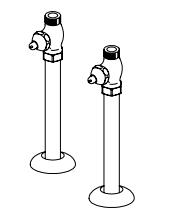
取り付け順にしたがって確実にお取り付け下さい。取り付け後は本管を開き、締め付け各部からの漏れの無いことを確認し、実用テストを必ず実施して下さい。

1 湯側・水側の配管に止水栓(別売品)を取り付けます。

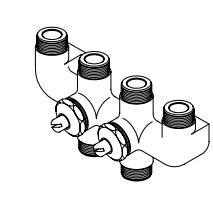
止水栓は固定された配管に取り付けて下さい。
流量調節や保守点検のため、必ず取り付けて下さい。



アングル形止水栓



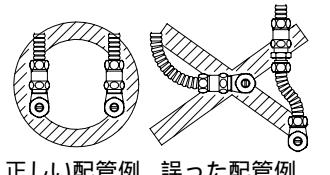
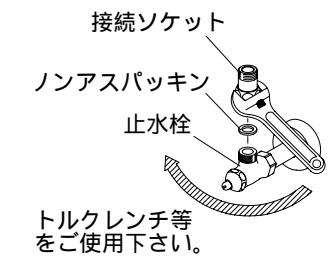
ストレート形止水栓



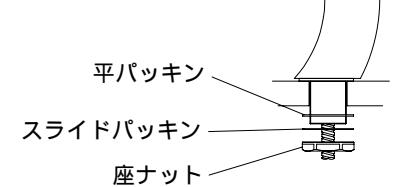
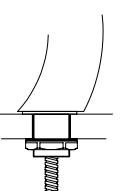
ヘッダー止水栓

2 逆止弁を止水栓に固定します。

逆止弁は $1960^{+500}_{-0} \text{ N}\cdot\text{cm}$ (=200 $^{+50}_{-0} \text{ kgf}\cdot\text{cm}$)を目安に締め付けて下さい。
逆止弁と止水栓の間には、付属のノンアスペストパッキンを必ず入れて下さい。
ノンアスペストパッキンの取り付けは、取り付け面が平滑でないと漏水の原因になります。平滑でないものは絶対に使用しないで下さい。

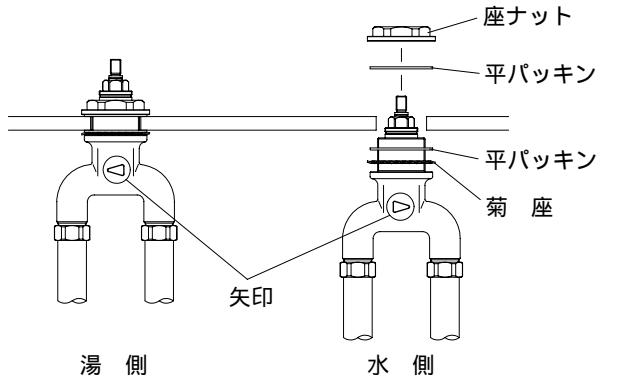


3 パイプ本体を天板に固定します。

平パッキン
スライドパッキン
座ナット

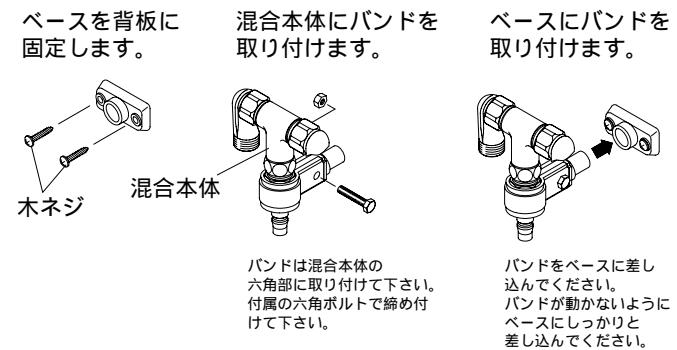
4 止水本体を天板に固定します。

止水本体の矢印が外向きになるように取り付けて下さい。

座ナット
平パッキン
平パッキン
菊座
矢印
湯側
水側

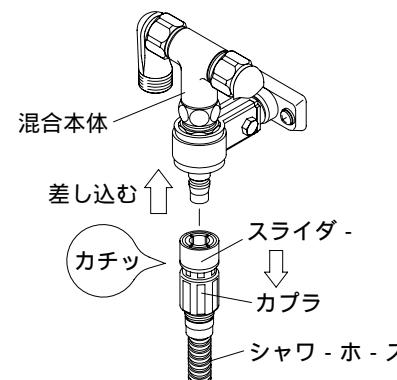
5 混合本体を固定します。

PP立バンドセットのグレーを使用してください。
PP立バンドセットを取り付けする位置に補強板があることを確認して下さい。
PP立バンドセットの取り付け位置は指定の位置に行ってください。



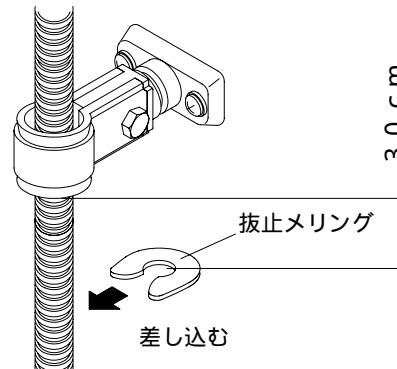
7 混合本体とシャワーホースを接続します。

カプラのスライダー部を引きながら差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
カプラを引いて、抜けないことを確認してください。



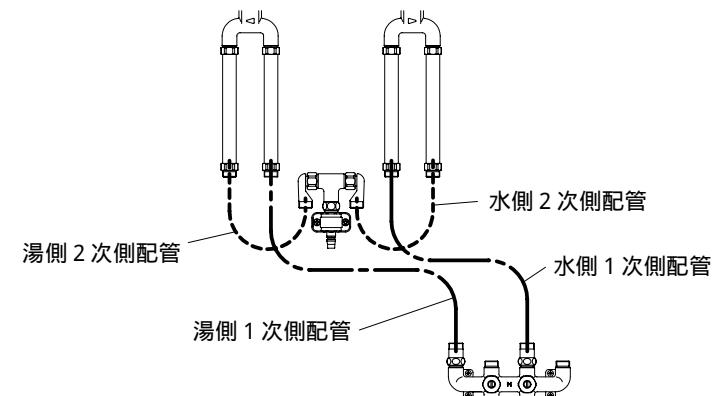
9 抜止メーリングを取り付けます。

シャワーホースガイドより 30 cm 下の位置に取り付けて下さい。



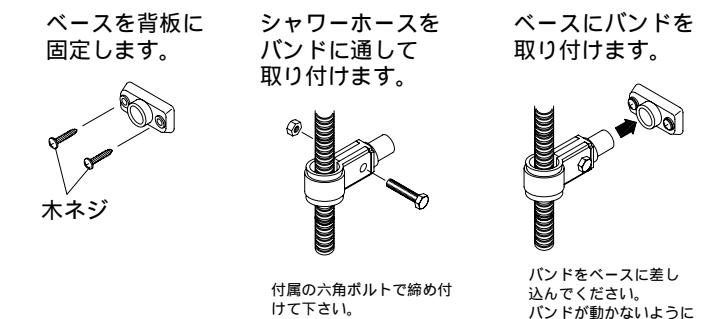
6 各接続部の配管を行います。

接続にはフレキ管(別売品)を使用してください。
下図のように各箇所をフレキ管で接続してください。
接続間違いは、水漏れや故障の原因になるので注意して下さい。



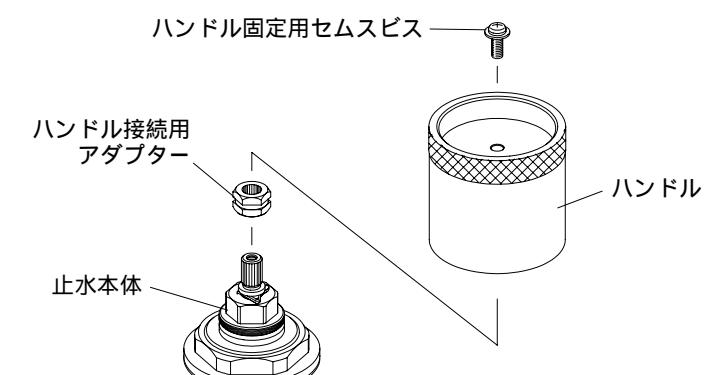
8 シャワーホースガイドを取り付けます。

PP立バンドセットの白を使用してください。
PP立バンドセットを取り付けする位置に補強板があることを確認して下さい。
PP立バンドセットの取り付け位置は指定の位置に行ってください。



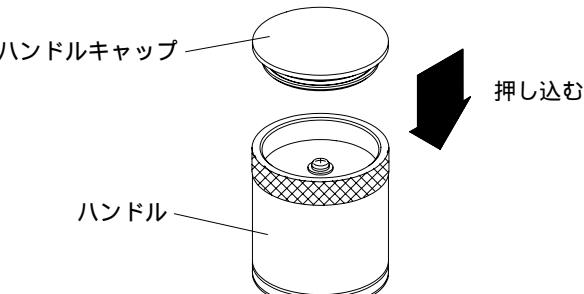
10 ハンドルを取り付けます。

施工完了後は、通水確認を行い各部からの漏れがないことを確認してください。
ハンドル固定用セムスビスは、緩まないようにしっかりと締め込んで下さい。

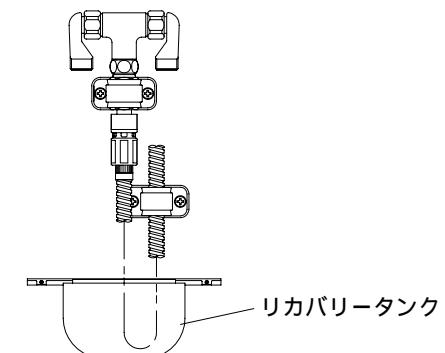


11 ハンドルキャップを取り付けます。

実際に通水確認を行い、ハンドルが止水位置で「hot」、「cold」の文字が水平に見えるように取り付けてください。
湯側に「hot」、水側に「cold」のキャップを取り付けて下さい。

12 【リカバリータンクを設置する場合】
リカバリータンクをシャワー ホースの真下へ設置します。

シャワーヘッドをむやみに回さないで下さい。シャワー ホースがよじれ、リカバリータンクからシャワー ホースが飛び出る可能性があります。



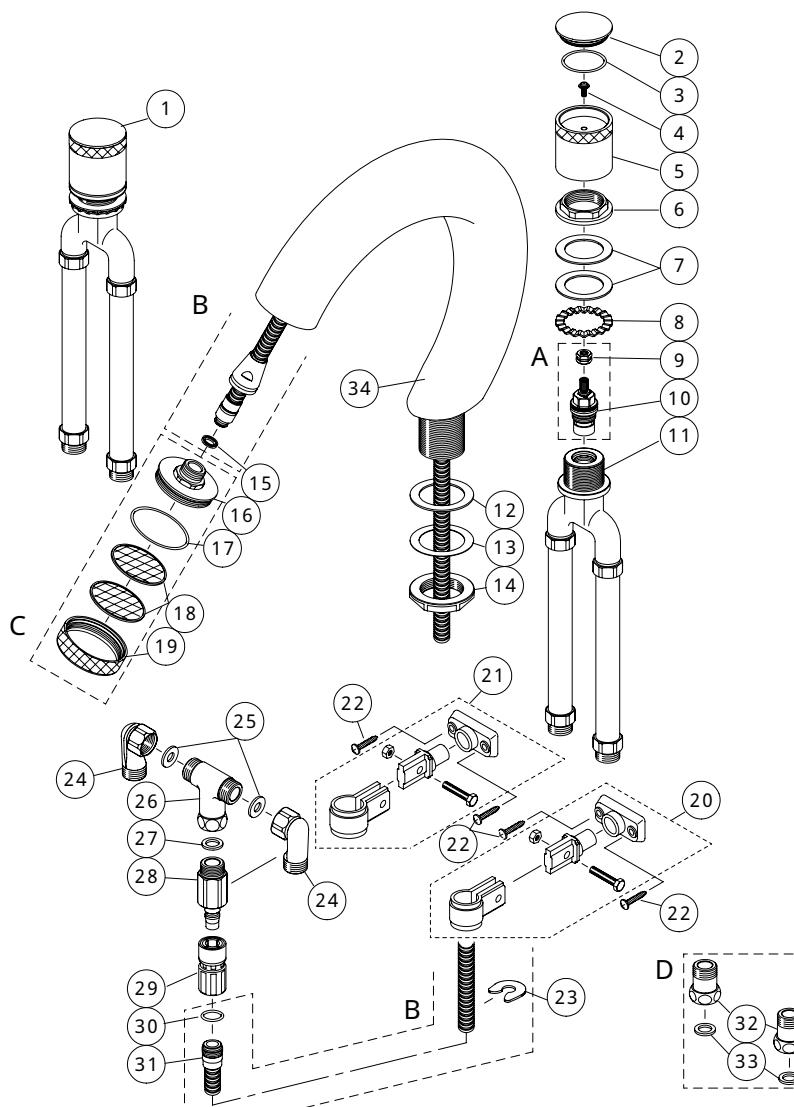
点検項目

使用中に異常が生じた場合は次の項目を点検し、調整して下さい。

異常な状態	点検・調整
吐水量が少ない	止水栓が閉まりすぎていなければ、ドライバー等で調整する。 整流器、整流アミにゴミが詰まっていないか(分解図参照) 給水・給湯源に異常はないか。
高温あるいは低温しか出ない	止水栓が閉まりすぎていなければ、ドライバー等で調整する。 熱源が正常に作動しているかどうかを確認する。また、給水圧力に大幅な変化が無いか確認する。

分解図

万一故障等で分解される場合は下図をご参照下さい。



1	605用ハンドルキャップ・hot
2	605用ハンドルキャップ・cold
3	Oリング(S36)
4	セムスビス M4×12×3P
5	605用ハンドル
6	605用座ナット・2
7	取付パッキン 46×35×1.5
8	770HS用菊座
9	インサート金具 8
10	クォーター上部
11	止水本体
12	605用平パッキン 56×40×1.5
13	605用スライドパッキン 56×40×0.5
14	605用座ナット
15	Xリング TYPE-10
16	605用シャワー本体
17	Oリング(S53)
18	605用整流ストレーナー
19	605用水板
20	PP立バンドセット(0010)・白
21	PP立バンドセット(0857)・グレー
22	(+)木ネジ SUS 5.1×25
23	645S用抜止メーリング
24	6S配管エルボ・メッキ無(NPb有)
25	平パッキン 20×9×2
26	片ナットオスネジチーズB
27	パッキン 18.5×12×2
28	605用シャワー接続金具
29	カプラーMZ/16
30	Oリング(S14)
31	605用フレキシャワー ホース
32	18S用逆止弁(1次側ねじ用)
33	パッキン 18.5×12×2 ノンアスペスト
34	パイプ本体

A	止水カートリッジ・605・AS
B	シャワーホース・605・AS
C	シャワーヘッド・605・AS
D	18S用逆止弁T・AS